

# ドイツにある 仙台のような街。



第二次世界大戦における空爆によって、  
壊滅的被害を受けた悲劇の町・ドレスデン。  
市民の精神的シンボルでもある聖母教会は  
瓦礫と化した石組みから再びその美しき姿を  
取り戻し、今では世界が敬意を表する平和都市に。  
豊かな自然に恵まれ、芸術を愛し、歴史と伝統を重んじる  
そんな、仙台とも共通点の多い、ドレスデンに暮らす人々の  
ライフスタイルと文化に触れる一週間。

## [ Dresden Week in Sendai ]

### 紹介事業

ドレスデンの  
魅力を知ろう

2010.11.22(月) ▶ 28(日) 入場無料

【展示時間 / 9:30~16:30 (最終日は16:00まで)】

秋保・里センター [多目的ホール]

- ドレスデン紹介パネル展示
- 「私の中のドレスデン」(会員展示・紹介)
- ワークショップ【みんなで作ろう「フラウエン教会」】
- 「日本画家 飯川竹彦とドレスデン」(活動紹介など)

### 記念講演

ザクセン&  
ドレスデンの文化  
~その魅力~

2010.11.23(祝) 事前申込必要(詳細は裏面へ)

- 戦災復興記念館
- 「ドイツ音楽隆盛の源 J・S・バッハを聴く」原田哲男氏 [10:30~12:00]
  - 「ドレスデン宮廷文化における日本の影響」 シュヴァルベ氏
  - 昼食・交流 [12:30~13:30]

仙台市博物館 ■実地セミナー「伊達政宗と慶長遣欧使節」学芸員解説 [14:00~16:00]



「世界最大のジグソーパズル」と呼ばれる  
フラウエン教会(聖母教会)

詳細・お問い合わせはホームページへ!

仙台ドレスデン・クラブ

検索

※この事業は(財)未来の東北博覧会記念国際交流基金の助成と(財)仙台国際交流協会の補助を受けています

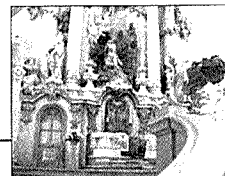


# ドレスデン・ウィーク in 仙台

紹介事業 ドレスデンの魅力を知ろう

2010年 **11.22** (月) ▶ **28** (日) 展示時間 / 9:30~16:30 (最終日は16:00まで)

**秋保・里センター** [多目的ホール] 仙台市太白区秋保町湯元字寺田原 40-7 TEL.022-304-9151



■ **ドレスデン紹介パネル展示**

自然、歴史、文化などをパネルにてご紹介しています

■ **「私の中のドレスデン」(会員展示・紹介)**

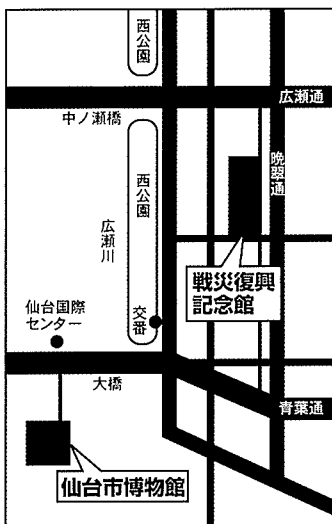
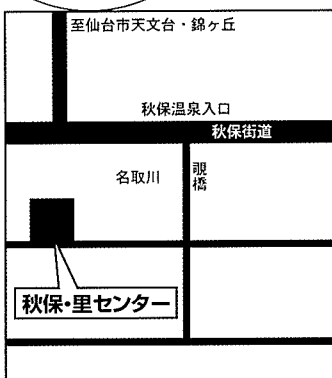
仙台ドレスデン・クラブの会員による絵画、造形、写真、映像など

■ **ワークショップ【みんなで作ろう「フラウエン教会」】**

ペーパークラフトによる「フラウエン教会」をみんなで完成させましょう!

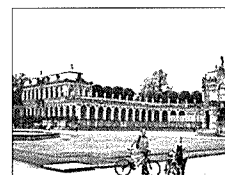
■ **「日本画家 飯川竹彦とドレスデン」(活動紹介など)**

ドレスデンと関わりの深い仙台在住の日本画家・飯川竹彦氏の、ドレスデンでの活動・交流の様子を紹介したり、作品展示を行います



## 記念講演 ザクセン&ドレスデンの文化 ~その魅力~

2010年 **11.23** (祝) **戦災復興記念館** [4F 研修室] 仙台市青葉区大町 2-12-1 TEL.022-263-6931



**第1部**

「ドイツ音楽隆盛の源 J・S・バッハを聴く」おはなし・演奏 原田哲男氏 (10:00~10:40)  
「ドレスデン宮廷文化における日本の影響」講演・シュヴァルベ氏 (10:45~11:45)

昼食・交流 4階第2会議室 (12:30~13:30) ※昼食お弁当ご希望の方は1,500円です

移動

**仙台市博物館** 仙台市青葉区川内 26 TEL.022-225-3074



**第2部 実地セミナー「伊達政宗と慶長遣欧使節」** 学芸員解説 (14:00~16:00)  
※学芸員による解説後、入館して研修となりますが入館料は、各自負担になります。

プロフィール [1]

**チェロ 原田 哲男 氏**

1970年生まれ。桐朋学園大学在学中の1990年に藝科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部にて学ぶ。1997年からは米田ダラス市の南メソヂスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学。同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本、ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコンクレスに出演。1999年仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者に就任し、以降北海道のチェロ協奏曲(仙台フィル委嘱作品)を初演のほか、定期公演等にソリストとしても出演している。2001年第4回ビバホールチェロコンクール3位。仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団でも活躍。「松尾音楽助成賞」受賞。また原村室内楽セミナーにおいて「緑の風音楽賞」受賞。2006、2007年には秋吉台室内楽セミナーに講師として招かれた。仙台市民交響楽団、仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団といった地元のオーケストラとの共演、ブラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用されるなど、仙台市を拠点に多彩な活動を行っている。森川諒一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎流の各氏に師事。2007年9月より文化庁海外派遣研修員として1年間ドイツに留学。クリスチャン・ギガ氏(ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソチエリスト)に師事。



プロフィール [2]

キュレーター ザクセン州独日協会(DJGS)  
ならびにザクセン州立民族学博物館連合(SES)  
哲学博士 **リュディア・イッケ=シュヴァルベ 氏**

1963年ベルリンのフンボルト大学にて民族誌と歴史を専攻し卒業。ならびに副専攻学生のためのインド学において国家試験合格。ドイツ民主共和国(旧東独)のベルリン科学アカデミーにてインド学に関する大学既卒者セミナーに参加。課題はアルタシュトラのサンスクリット語文献ならびにワルター・ルーベン教授を範とする(『鎌倉と悪魔信仰』に関する同教授の研究に関連する)アシュルとアシュラの文化史的解釈。歴史および民族誌研究の個別テーマは、アリア以前の部族のサンスクリット語テキストと伝承文獻における祭(すき)耕作の開始事情と馬の重要性。1964年以降、州立ドレスデン民族学博物館の共同研究者。ドレスデンおよびライプツィヒの博物館所蔵の文化史的資料にもとづき、南アジア民族誌研究センターを立ち上げる。1977年インド部族の歴史的分類、およびチベット学と日本芸術史に関する大学卒業後の研究を加えて、ハレのマルティン・ルター大学より博士号取得。1989年以降、ドレスデン民俗学博物館の南アジア・東アジア分野の管理責任者。2004年以降、ザクセン州立民俗学博物館連合の枠内に移行。研究企画・出版部主任。1990年~2001年、論文・報告編集部。招聘により、ベルリン、ライプツィヒ、ドレスデンの専門大学、ツィッタウにて招待講演ならびに民族誌セミナー。2000年および2004年、研究のため日本に滞在。国立民族学博物館、東京大学、熊本現代美術館と共同研究。重点的研究テーマは、日本の芸術創作における社会的・祭儀的習俗。1991年より独印協会(DIG)会員。2001年より同協会ドイツ幹部会メンバー。国際人類学・民族学連盟(UAES)会員。国際博物館会議(ICOM)ドイツ委員会会員、研究班は民族学博物館・コレクション国際委員会(ICME)。ザクセン州独日協会会員。インド、ドイツ、東欧(ハンガリー、ロシア/ソビエト連邦)において討議集としての多数の個別出版、および書評。



主要著書(単行本)『サムライの剣』1977、1979年他多数

記念講演への参加には  
**お申し込みが必要です**  
第1部・第2部 各60名限定

申込  
締切 **11月10日**  
(当日消印有効)

【お申込方法】お一人につき一通の**往復はがき** でお申し込みをお願いします

●返信ハガキ(表)

応募者の  
住所・氏名

※返信ハガキの  
裏面は「白紙」で  
お送りください。  
結果を印刷して  
お送りします。

●往信ハガキ(裏面)

参加希望  
第1部  
戦災復興記念館  
第2部  
仙台市博物館  
昼食  
要・不要  
応募者の住所  
氏名・連絡先  
メールアドレス

左記必要事項を記入の上、お申し込みください。

【送付先】「**仙台ドレスデン・クラブ**」事務局

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目1-5-101号

※申込多数の場合は厳正なる抽選の上、入場券(返信)をお送りさせていただきます  
※第2部は単独でも受講できますが、第1部希望者が優先となります  
※昼食のお弁当をご希望の方は、当日受付にて1,500円をお支払い願います

【お問い合わせ】

■お急ぎの場合はE-mailでお問い合わせください。 s-dresden.klub@dg.rmail.ne.jp  
■お急ぎでない場合はTELまたはFAXで ①お名前 ②電話番号 ③お問い合わせ内容 をお伝えください。  
後日、担当者よりご連絡させていただきます。 TEL&FAX 022-297-6110